

「Web ユーザビリティと情報教育」学習指導計画

1. テーマ学習...UDA (ユニバーサル&アクセシビリティ) プロジェクト
2. プロジェクト学習の流れ

	内容		留意点
コンセプト説明 事前学習	6月	1 2 3 初回の授業でプロジェクトの趣旨説明(ゴールを明確に) UDAの基礎知識に関する調べ学習	コンセプトを明確に <2つのポイント> ・街のUDAを取材 ・WebのUDA制作
取材計画	7月	4 5 取材地の決定 取材計画書の作成と提出 取材の準備	身近なUDAを探す 取材交渉と趣旨説明のための手紙を作成し持参 写真撮影時には、肖像権・商標権に注意する
施設調査・情報収集	7 8月	現地取材 取材メモの作成 地図のスケッチ	
まとめる	9月	6 ~ 10 資料をまとめる 画像処理(Web用)	Web制作 専門家による技術指導(高大連携)2週に1度専門家の指導を受ける
中間発表会	9月	11 ~ 16 HTMLによる作物のWeb化 地図の作製 第1回完成(Web提出)	
再構築	10月	17 ~ アクセシビリティチェック 完成した制作物の講評とフィードバック 自己評価による問題点の抽出と再構築	アクセシビリティ 見る側の立場を配慮した配色・文字・画像 専門家によるレクチャー・講評(大学教授)
発表・相互評価	11月 ~ 12月	24 ~ 完成と提出 相互評価 養護学校との交流 地域からの意見収集など 多言語の研究とWebの多言語化	多言語 Web・掲示板・テレビ会議を活用した学校間交流を定期的に行う 英語説明をつけるなど
総括と提出 (ゴール)	1 ・ 2月	発表会(Web展示会) 総括とまとめ	Webデザインの専門家による講評

- ・ 掲示板やテレビ会議を利用して、継続的に交流を行う。とくに高校側からは質問などをどんどん書き込む
- ・ 中間発表(練習試合)で戦術・企画案の駄目出しをする。
- ・ 最終的にはWebデザインの専門家前で発表して評価をいただく。
- ・ 感想はレポート回収・提出して今後の学習計画の打ち合わせの参考資料にする

UDAプロジェクト
 ~街角のユニバーサルデザインを探しに行こう!~

教科	情報コミュニケーション(3年生選択)	
科目	コンピュータとネットワーク選択者(77名)	
対象	第3学年	
テーマ	「UDA(ユニバーサルデザイン&アクセシビリティ)プロジェクト」 ~街角のユニバーサルデザインを探そう!!~	
目的	障害者、外国人、初心者から高齢者まで、誰でも使いやすいWebユーザビリティ研究と、地域の「ユニバーサルデザイン」情報取材し、アクセシビリティを配慮したWebによる情報発信を目的とし、Webサイトを実践の場とした学習活動を展開する。日本ではまだまだおこなわれている「Webのユニバーサルデザイン」の指導には、デザインの専門家等の協力で、より専門性と社会性の高い学習を実践する。大学や専門家、養護学校、韓国の高校との連携を図り、インタラクティブな交流学習を進めるために、テレビ会議システムで研究室等と教室を結んで正統的交流学習と研究活動をおこなう。	
概要	1. プロジェクトのコンセプトと目標 2. UDAの基礎知識と調べ学習 3. 取材場所の決定・取材準備・計画 4. フィールドワーク・取材 5. web制作 6. アクセシビリティチェック 7. 再構築・専門家によるアドバイス(ICT活用) 8. 多言語学習 9. 養護学校・韓国など交流学習 10. 完成と発表・web展示会 11. 自己評価・相互評価	<高校生>取材とWeb制作 <大学生> Web用画像処理の技術指導 <大学教授等専門家> Webデザインの専門的指導 情報社会におけるWebの必要性和現状 アクセシビリティの観点
1時間目	(1)プロジェクトの趣旨の理解 (2)UDAとは?webユーザビリティとは?	
2・3	UDAの基礎知識 取材場所の決定と準備 取材交渉手紙の作成	<掲示板による意見交流> ・大学との専門的交流 ・養護学校との交流 ・専門家にレクチャーを受ける。 ・韓国との交流による多言語対応化
休日など	フィールドワーク 取材メモ・写真の撮影・地図のスケッチ	
4~5	資料のまとめ web用に画像の処理 専門家による画像処理の技術指導(2週間に1回) 地図の作製	
6~16	第1回提出と相互評価 大学の先生の講評	
17~24	多言語の学習 制作したwebに英語の翻訳を付ける。韓国とのテレビ会議 養護学校との交流学習から、制作物の再構築	掲示板などwebを活用し、地域や他校からできるだけ感想・意見を集める
25~	完成とプレゼンテーション web展示会・専門家の講評	相互評価と自己評価

** 掲示板やテレビ会議の活用で、遠隔授業、継続的な意見交流を行うこと。